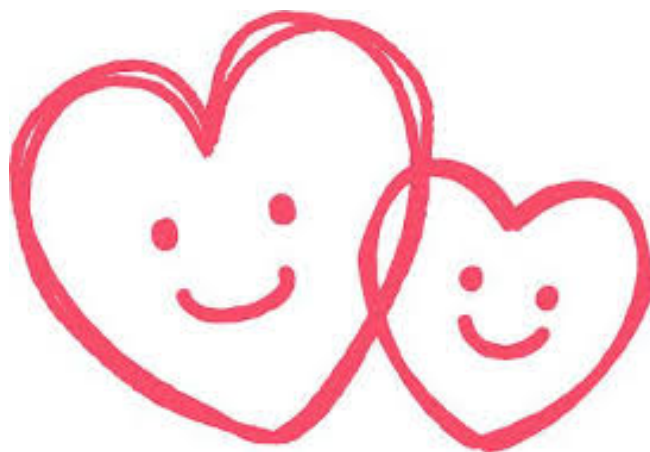


“緩和ケア”で、 がんサバイバーと医療者がつながる

市民公開シンポジウム



参加費
無料

シンポジスト

- 柳澤弘子 (がんサバイバー)
- 八木淳子 (がんサバイバー)
- 山本祥之 (筑波大学附属病院 消化器内科医)
- 入江佳子 (筑波大学附属病院 がん看護専門看護師)
- 岩部博子 (筑波大学附属病院 管理栄養士)
- 峯岸 忍 (筑波メディカルセンター病院 理学療法士)
- 谷 詩織 (筑波大学附属病院 作業療法士)

司会

- 佐藤正美 (筑波大学医学医療系 看護師)
- 風間郁子 (筑波大学附属病院 がん看護専門看護師)

2014年12月13日 (Sat) 13:30~16:30

つくば国際会議場 中会議室202 (裏面参照)

がんと診断された時からの緩和ケアを実践するには、当事者の声なくしては実践され得ない。今回は特に生活そのものである「活動」と「食事」に焦点をあて、がんサバイバー当事者が自分の体験を発表します。次に医療者の各専門家がそれぞれの立場から、緩和ケアの実践と提案を述べ、サバイバー当事者のニーズと合致しているか、また不足していることとは何か、医療者そしてサバイバーは、緩和ケアへどう取り組んだらいいのかを考えていきます。

主催：がんプロフェSSIONAL養成基盤推進プラン

国際協力型がん臨床指導者養成拠点 がん緩和ケア多職種養成コース (インテンシブ)

- 申込フォームからの申込み
URL: <http://goo.gl/forms/UaQeXkVhgf>
- E-mail、FAXからの申込み
①名前、②所属/職種 (医療従事者の方)、
③E-mailアドレス、④連絡先電話番号を
明記のうえ右記事務局へお申込みください

QRコード



問合せ

筑波大学がんプロ事務局
TEL: 029-853-7315/7316
FAX: 029-853-5745
E-mail: ganpro-jimukyoku@un.tsukuba.ac.jp

当日
参加可

市民公開シンポジウム 「“緩和ケア”で、がんサバイバーと医療者がつながる」



プログラム

- 13:30～13:35 開会のあいさつ
- 13:35～14:15 がんサバイバーとしての体験から望む“緩和ケア”（がんサバイバー2名）
- 14:15～14:55 医療者の立場から（2名）
- ・腫瘍内科医として“緩和ケア”をこう考える（医師）
 - ・“緩和ケア”へ向けた看護師としての実践と課題（看護師）
- 14:55～15:05 休憩
- 15:05～16:05 医療者の立場から（3名）
- ・“緩和ケア”へ向けた栄養士としての実践と課題（栄養士）
 - ・“緩和ケア”へ向けた理学療法士としての実践と課題（理学療法士）
 - ・“緩和ケア”へ向けた作業療法士としての実践と課題（作業療法士）
- 16:05～16:30 ディスカッション、まとめ、閉会のあいさつ

会場へのアクセス



つくば駅A3出口を出て、バスロータリーに沿って右に進み、階段を上り、遊歩道を直進およそ800m



お車の方は、つくば国際会議場の駐車場又は、市営の駐車場をご利用ください。駐車場のご利用は、有料になります。